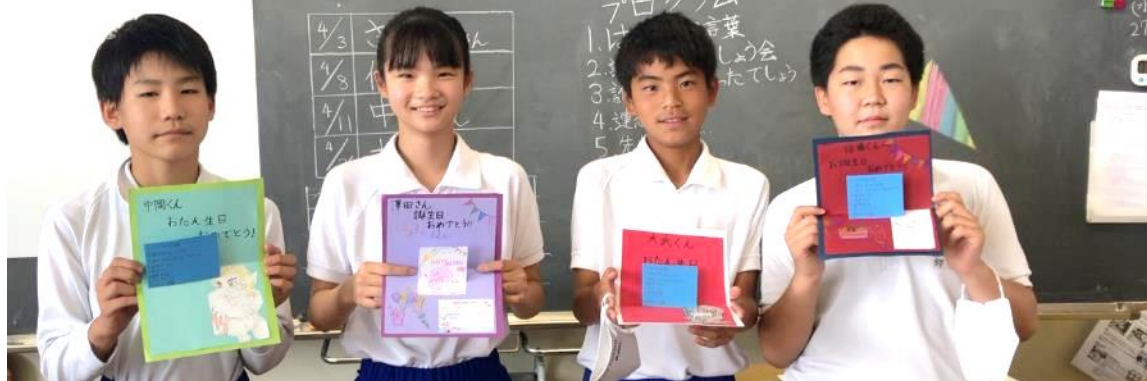


おめでとう

4月のお誕生日会

七月二十日(月)



香芝市立下田小学校 6年4組 学級文集「みんなで」第48号 2020.7.27(月)

四月誕生日会



七月になっていますが、四月の誕生日会を行いました。係活動も始まった所で、六年生で初めての誕生日会となりました。今回の計画は全て誕生日係が進めてくれました。四月生まれの人は、澤田さん、大武くん、佐藤晃太郎くん、中岡くんの四人でした。班対こうゲームの結果は、3ぱんが優勝しました。七月中に、五月〜七月までの誕生日会を行う予定をしています。

☆おめでとう☆
<4月生まれ>
澤田さん(3日)
佐藤くん(8日)
中岡くん(11日)
大武くん(26日)



四月誕生日会プログラム

／誕生日係

- ①はじめの言葉
- ②四月の誕生日の人の紹介
- ③誰がいなくなったでしょう
- ④連想ゲーム
- ⑤先生クイズ
- ⑥結果発表
- ⑦プレゼント&写真撮影
- ⑧終わりの言葉



☆みんなの感想から

7/22

・私の誕生日は、いつも学校が始まる前に過ぎてしまいます。なので、あまり学校で誕生日を祝ってもらうことがなかったので、今日、祝ってもらえてうれしかったです。私は誕生日係と誕生日の人だったので、祝う方も、祝ってもらう方も味わえたので、うれしかったです。(澤田)

・ぼくは、四月が誕生日だったので、祝ってもらいました。連想ゲームでは、余り答えられなくて、下の方だったので、くやしかったです。先生クイズでは、他の人のクイズが難しかったです。みんなのこととがいろいろ知れて良かったです。(大武)

・特に印象に残っているのが、先生クイズです。問題を2つ当てられたからうれしかったです。次は、誕生日会を作ってみたいです。(佐藤)

・まず、ゲームが楽しかったです。クイズも分らない所もあったけど、佐藤君のクイズが楽しかったです。(酒井)

・ぼくが楽しかったのが、連想ゲームと先生クイズです。連想ゲームでは、いっぱい答えられて、うれしいです。先生クイズはあまり答えられなかったえ、すぐく誕生日の人のことが分かって、たのしかったです。また、いろんな誕生日会をしたいです。(谷口)

・楽しかった。特に先生クイズでは、珍回答がいっぱい出て、とてもおもしろかった。班では得点が一番低かったけど、とても楽しかった。(安川)

・今日、六年生で初めてお誕生日会をしました。一番楽しかったのが、「誰がいなくなったでしょう」です。一人が先生の机の下にかくれて、一班から当てていきます。誰がいなくなったのかを当てるのがおもしろかったです。



(喜沢)

・私のお誕生日係なので、準備をする側でした。前日に「全然準備できていない」とあせっていた。でも、何とか誕生日会までに間に合って、会は成功しました。私たちも楽しみにしてお祝いもできてよかったです。次も楽しみです。(下田)

・四月誕生日会で楽しかったことは二つあります。それは、「先生クイズ」と「誰がいなくなったでしょう」です。当てるのが楽しかったです。また、このゲームをしたいです。(岩本な)

・今日の四月お誕生日会は楽しかったです。連想ゲームが楽しかったです。連想ゲームは、班のリーダーがヒントを出して解いて行くのが楽しかったです。

(木村)



みんなの日記から



□「野球観戦」

土家璃子

日曜日に、私は家族と京セラドーム大阪に、オリックス対ソフトバンク戦を観に行きました。コロナ対策のために、球場に入る前に検温をします。球場内に入ってから、座席は前後一列、左右二席ずつ空けて座ります。応えんも、応えん歌を歌ったり、ジェット風船を飛ばしたりしてはいけません。いつもとちがってとても静かでした。

静かだから気づいたことがあります。ピッチャーが投げたボールを打った時の音や、つかんだ時の「パン」という音、選手の声がとてもよく聞こえてきました。良いプレーがあった時は、大きな拍手がありました。

試合は、三対二でソフトバンクが勝ちました。ホームランが見られてうれしかったです。

□「最愛のハムスター」

木村優太

ぼくは、一年前からハムスターを飼っています。日曜日に、ハムスターのゲージが小っちゃくなってきたので、二階建てのいいおうちに換えることを決断しました。さっそく、お父さんとぼくと友達とで買いに行くことにしました。

そのゲージが売っている場所に着いて、ゲージ

を見てみると、「(これいいやん。)」と思うものが見つかりました。(これにしようー)と思ったその時、見本のゲージはピンク色だったのに、箱が青のゲージでした。裏を見ると、箱は表青、裏ピンクのものでした。色はどっちなのだろうと箱のバーコードを見ると、ピンクルーと書いていました。

「この青はありますか。」
と、店の人に聞くと、「ないんです。」

と言われました。それで、ピンクのゲージにすることにしました。

□「ホームラン」

安川颯泰

ぼくは、野球の練習試合で、信貴レッツというチームと試合をしました。その試合では、ぼくは、五番レフトで出場しました。

一打席目は、シュートゴロを打って、ファーストのエラーで二塁まで行きました。二打席目は、ファーストで出塁しました。

そして、三打席目では、二ストライクまで追い込まれましたが、次のボールを打ったら、レフトに飛んで、そのままホームランになりました。とてもうれしかったです。

前に、関屋との試合でホームランを打ったことがあるけど、ベースを、ふみ忘れてアウトになったので、今回は特に気をつけて走りました。

ホームランはとてもうれしかったです。

病気の予防(エイズについての学習) その①

保健の教科書には、「病気の予防」という学習があり、エイズについて書かれています。しかし、半ページに病気の紹介をしている程度であり、教科書が変わる度に、うすっぺらい内容となってきています。

1990年ごろであれば、エイズが話題となり、学校でも積極的に教えていたものです。現在ではさまざまな治療薬が出ており、予防できるようなったということもあってか、余り報道もされないようになりました。

しかし、エイズも新型コロナウイルスのようにウイルスが体内に入って、体を守る仕組み(免疫の仕組み)をおびやかす病気です。エイズの学習は今の新型コロナウイルスの予防に通じる所もあるので、少しほりさげて、くわしく教えたいと思います。

まず、体を守る仕組みについて学習します。人体の持つ不思議な力について知ってほしいです。

(一)エイズとは

五年生の運動会で踊った「We Will Rock You」、フラッグを持って踊った「I Was Born to Love You」は、イギリスの「クイーン」というロックバンドの歌でした。そのボーカルだった

香芝市立下田小学校 6年4組 学級文集「みんなで」第49号 2020.7.27(月)

フレディ・マーキュリーは一九九一年に自身からHIV(後の学習でお話します)に感染したことを公表し、その翌日にエイズで亡くなっています。四五歳という若さでした。フレディ・マーキュリーの伝記は「ボヘミアン・ラプソディー」として映画になり、数年前に世界中でヒットしました。

エイズが初めて報告されたのは1981年のことでした。そして、世界的に知られるようになったところ、エイズで亡くなった人にゲイの人が多くいたため、エイズになった人は、ゲイの病気とかゲイ癌だということ、多くの偏見と差別の対象にされてきました。正しい知識をもたないことが差別を引き起こすことになったのでした。

(二)免疫・体を守る仕組みについて

空気中にたくさんある細菌におかされないのも、インフルエンザが治るのも、免疫という体を守る仕組みがあるからです。この免疫の仕組みをわかりやすく理解するため、NHK『人体』というビデオの一部を見てもらいました。チームプレイをしながらウイルスと戦っている白血球の様子がCGでえがかれています。

CGは、新型コロナウイルスが体の中に侵入する所から始まります。まず、食細胞は外敵をひたすら食べます。カゼをひいたとき、のどの下とか

赤血球：体の細胞に酸素を運び、血液
血小板：血を固める
白血球：食細胞(好中球)
B細胞(抗体をつくる)
T細胞(司令官の役割)

はれるのは、これらの細胞が戦っているからです。また、ただ食べるだけでなく、侵入してきたウイルスの情報を細かくくつき、司令官であるT細胞に伝えます。T細胞はその情報を解読し、抗体(ウイルスをやっつけるための飛び道具のようなもの)を作るための命令を出します。B細胞は、抗体を出し、ウイルスをたいじするのです。

このように、白血球がそれぞれ連携いしながら、私たちの体を守ってくれています。これが、免疫の仕組みです。

ウイルスが体内に入ってくると

①食細胞(好中球)がウイルスを食べる。ウイルスの情報をT細胞に伝える。

←
②T細胞が分れつをくりかえし、数を増やす。
・B細胞に抗体をつくるための命令を出す。

←
③B細胞は抗体を作り、ウイルスをやっつける。

④T細胞はウイルスの情報をしっかり記憶して、次の時にそなえる。

エイズは、体を守る免疫の仕組みをこわしてしまします。それでは、エイズウイルスは、免疫の仕組みをどのようにならわしていくのでしょうか考えてほしいです。

授業の感想から

7/21

・今日、コロナのテレビを見て思った事は、体の中でウイルスは発生したときに、白血球と言ったものが一生懸命働いてくれてウイルスをやっつけると言うことがわかった。

(岩本な)

・コロナが人間の嚴重な守りをすりぬけることを知って驚いた。エクアドルみたいにコロナが変異するかもしれないから、しっかり予防しようと思った。

(佐藤こ)

・ウイルスってこんなにもこわいことがわかった。自分の体では、こんなにも体を守るためにウイルスが立ち向かってきていることに感動した。また、ウイルスはとても賢いと思った。

(奥谷)

・私たちの体は、こんな仕組みになっているんだなと思いました。ケガをしたときに、血小板がぎせいになって、かさぶたになっているとは思いませんでした。私はこれからケガをしないように注意したいと思います。

(土家)

・体の中にはこんなによくできたシステムがあるんだと思った。他の細胞の名前も知りたいと思った。ぼくたちが知らない間に細胞たちはこんなにがんばってくれて感謝したいと思った。(戸川)

・人間の体の中の免疫ってすごいなと思った。食細胞、T細胞、B細胞がこんなふうに関わってくれていることがわかった。

(磯田)

・私はこの勉強をして、コロナウイルスがどれほどこわいかがわかったし、体の中では、体を守るために、このようなことをしてくれていることを初めて知りました。もっとも私は体の細胞のことを知りたいです。

(三瀬)

・学級文庫にある「はたらく細胞」でもあったけど、テレビで見るとよく分かりました。あんなふうに免疫細胞が細菌をたいじしてくれることを知りました。疑問は、T細胞、B細胞は不滅なのかなと言ったことを知りたいです。

(西野)

・自分たちの体の中で、こんなに複雑なことが行われていることを知ってすごくびっくりしました。聞いたことがある言葉でも、何がどうなっているのか知らなかったの、授業で知れてよかったです。コロナウイルスがどんどん進化していると知って、もっと意識を高めてコロナウイルスにかからないようにしたいと思います。

(澤田)

・今は、とても危険な時期で、そして今日動画を見たら、自分たちの体の中には、こんな風にウイルスと戦ってくれているんだと知ってうれしかったです。

(藤岡)

・コロナのくわしいこわさを見られてよかった。もし自分がコロナになっても防衛隊がいればこわくない。自然免疫のすごさが分かった。

(木村)

・ウイルスが来たら、まず食細胞が戦って、その後倒すのが無理になったら、T細胞やB細胞が助けに来るなんて、なんだかっこいいなと思った。体の中で二重の仕組みになって、自分の体を守ってくれているなんてすごいと思う。

(八田)

・白血球は、食細胞やT細胞、B細胞のこと言うことが初めてわかったし、コロナウイルスが二セのカギを使って、イヤなことをしているなんてずいと思った。

(岩本ひ)

・コロナウイルスは二セのカギを作って細胞に入らなくて、実にずるいと思った。免疫を高めるにはどうすればいいか知りたくなった。

(塚本)

・今日の授業では、新型コロナウイルスのおそろしさがよくわかりました。コロナウイルスはずるい手を使って、ぼくらの体の中でどんどん増えていくなんで、とてもこわいと思いました。でも、それを倒してくれる食細胞(好中球)の働きは、ちゃんとした作戦計画を持ってやってってくれるなんてすごいと思いました。今コロナなどの病気にかからないためにも、適切な生活をして体の免疫力を高めようとして今日の授業でぼくは感じました。

(佐藤)

・いつも病気にかかると、何日かして治ります。それは自然じゃなく、体ではいろいろな細胞がれんけいして、そのウイルスをやっつけてくれると知って驚きました。細胞にはいろいろな働きがあつて思っていたよりすごかったです。

(高山)



香芝市立下田小学校 6年4組 学級文集「みんなで」第50号 2020.7.28(火)

跳び箱の授業 その⑥ー発表会ー

発表会でも、発表する技をみんなで採点しました。(今回は先生も加わっています。)自分の練習して来た技を発表するのですが、発表する技によって、元々点数がちがいます。その持ち点を元に、実際に演技を行い、減点、加点を行って演技に得点がつきます。まず何を発表の技にするのか迷ったはずですが、難しい技をして高得点をめざすのか、それともきっちり着地を決めて、大きさや美しさの加点をねらうのか、みんなは練習で、自分の技を決めて行きました。

そして発表会。審判の人と先生とで、それぞれの人の演技に採点して、その場で発表しました。これまで学習してきた「横跳びこし(回転系・反転系)」、「縦とびこし」、「閉脚跳び」、「開脚跳び」の中からです。

発表会では、みんなとても緊張していました。が、どの人も上手に演技ができていました。見事に着地をヒタツと決める人、腰の位置が高い開脚跳びが出来ている人、大きな閉脚跳びができていて人がいました。中には、「おー!」と歓声が上がると演技をする人もいました。みんな自分のできる精一杯の演技をしていました。

授業の感想から

7 / 20



発表ではすごくよかった。閉脚跳びでも閉脚跳びでも、助走つけることと、手を前につくことが大切なことがわかった。(井上)

発表会では、開脚跳びをしました。きんちようしていましたが、終わったら、きんちようもぬけてよかったです。うまいこと跳べてよかったです。(酒井)

横6段の反転横跳びこしができたけど、一歩だけ前に行ってしまったと思った。動画をみて、ポーズをとるのが少し早かったなと思った。(磯田)

発表する時に、すごくきんちようしていたけど、発表の時に失敗しなかったのがよかったです。着地の時に少しグラついたけど、すぐに動きを止めて、ポーズを取れたのでよかったです。(岡田)

私は横6段の閉脚跳びで、6段の最後に発表だったので、少しきんちようしました。けど、得点は持ち点より0.1点多かったので、加点があつてよかったです。(久保)

発表会を終えて、先生に加点をもらえてうれしかったです。自分的には、手のつく位置が手前すぎていたけど、上手に跳べたので良かったです。(渋谷)

すごくきんちようしていて、失敗をするかなと思ったけど、失敗なくてよかったです。(岩本)

・今まで練習してきたことが、今日発表できていたと思う。しっかりと足を止めて着地をすることができてよかった。今度はもう少しロイター板をはなして跳んでみたいと思う。

(奥谷)

・発表会を終えて、自分でも、もつとできたかなと思いましたが、でも、加点されていたのでとてもうれしかったです。

(岩本ひ)

・ぼくは、発表会を終えて、本番に弱いのかなと思いましたが、なぜなら、練習では成功していたのが、本番だと失敗していたからです。なので、本番に強くなりたいです。

(西野)

・反転系横跳びこしでは、着地が一步前に進んでしまった。ビデオを見て、もつと止まろうと思った。そして、もつと遠くで着地できるようにがんばろうと思った。

(戸川)

・今回はうまくてきたと思っていたけど、持ち点を同じでした。点数はあまり出なかったけど、うまくてよかったです。

(高山)

みんなの日記がっ



□「帰ってから」

川原ことみ

帰ってからいつもしていることは、手洗い、うがいをしてからテレビを見ることです。手洗いうがいをしているのは、今のコロナウイルスが流行っている、予防するためにしています。

いつも帰ってから必ず見るドラマがあります。そのドラマは「エール」と言って、日曜日以

外毎日やっています。「エール」は、主役の人が音楽に目覚め、作曲家になって詩に曲をつけたり、歌を作曲したりするお話で、とても面白いドラマです。

テレビを見終わった後は、おやつを食べています。今日は、ガリガリ君とブランチュールを食べました。おいしかったです。

おやつを食べ終わった後に、宿題をしました。いつも宿題をやり始める時間は大体四時半から五時の間です。いつもこのような感じで、帰ってから過ごしています。

□「プール」

三瀬詩月

七月十九日に、庭でプールをしました。縦約一・五m、横約九十cmぐらいの大きさの、ふくらませるプールです。

朝の十時ぐらいから、夕方の五時三十分ぐらいまで、遊んでいました。

最初は、最近買ってもらった水でっぼうで、妹と弟とで遊んでいました。みんな私をねらって水をかけてきたけど、暑かったので、全然寒くありませんでした。私も妹や弟にかけまくりました。そして、プールで洗たく機をして遊んでから、また、水でっぼうをしました。

お昼になって、お父さんがバーベキュー用に火の準備をして、それからお肉を焼いてくれました。私はタンをバクバク食べました。私はタンが大好きです。コリコリした食感がたまらなくおいしいです。

それから、食べ終わって、また水でっぼうをしま

した。家にすべり台があるので、それをスライダーにして、ずっと遊んでいました。お父さんが、またお肉を焼き始めたので、机に座って、焼き上がるのを待っていました。そして、また、タンを食べました。おなかがいっぱいになりました。

それから、また水でっぼうで遊んでいたら、水でっぼうがおれました。お父さんに、テープでぐるぐる巻きにして直してもらいました。修理してもらった水でっぼうで、遊んでいたら、五時のチャイムが鳴ったので、お片づけをして、終わりました。

水でっぼうはとても楽しかったので、プールをまたやりたいです。

□「運が良かったこと」

井阪満穂

今日、朝に「目ざまし土曜日」を見ていたら、幸運の一位が自分の星座の射手座でした。ラッキーアイテムを見たら、「まぐろ」でした。

その時、食べていた朝ご飯は、「鉄火巻き」だったので、一位の運はすごいと思いました。

その後、不二家のポップというアメを食べようとしたら、ペコちゃんがいる所に、一人だけポコちゃんがいきました。これは、レアらしいです。やっぱり、幸運の一位はすごいと思いました。

それから、エコール・マミに行った時、雨が降っていました。立体駐車場に行った時に、一階は「満」と出ている、入れないなど思っていたら、ドアの所の最高の場所が空いていました。

三度もあって、幸運の一位はすごいです。



香芝市立下田小学校 6年4組 学級文集「みんなで」第51号 2020.7.29(水)

もったいない



食事を残すのは、
とてもお行儀の悪いこと。

お米の一粒一粒には、作った人々の
大変な苦勞と思いが宿っています。

だからこそ、ごはんは最後の一粒まで、
ありがたくいただく。

これこそが、日本人の心に生きる

「もったいない」の精神です。

『もったいない』プラネット・リンク編／マガジnhausから

ずいぶん前のことですが、テレビで黒人の女性
が何度も「もったいない」とくり返して言うて
るCMがありました。この方は、ワングリ・マー
タイさんというケニアの方で、環境副大臣をされ
ていました。一九七七年に「グリーンベルト運
動」という木を植える運動をおこしました。貧
しい人たちが木を植えることによって、社会への
参加をよびかけました。そのことがみとめら
れ、アフリカの女性で初めてノーベル平和賞を
受賞したのです。ワングリ・マータイさんは日本
に来たときに「もったいない」という言葉に出会

います。地球を守る言葉として世界に広めてい
ます。そして、「限りある資源を有効に使い、み
なで公平に分担すべきだ。そうすれば、資源を
めぐる争いである戦争は起きない」と主張して
います。

これらのことは、六年生で使う道徳の教科書
にも、英語の教科書にも載っています。マータイ
さんは二〇一〇年に亡くなられましたが、「もっ
たいない」というすばらしい日本語に、日本の多
くの人が気づかされ、今もその言葉は私たち日
本人の心の中に根付いていることを教えられる
のです。

授業の感想から

7 / 23

私は前まで米粒を残していたけど、お母さんに、
「もったいないから最後まで食べなさい。」と言わ
れてからは、米粒を最後まで食べることにしてい
ます。米粒を最後まで食べると、とてもすっきりし
ます。
(喜沢)

・私たちが当たり前と思っているものは、だれかの
手によって作られている。大変な思いをして作業
している。これはとてもありがたいと思わなけれ
ばいけないと思った。みんな、ずっと文句言わずに
働いている。だから、私たちはいろんな物がだれか
が一生懸命働いて作られた物だと言うことを
頭の中に入れて、ご飯を食べたり、物を使ったりし
て、生活をしたいと思った。
(三瀬)

・自分たちの身の回りのものがあるのは、当たり前じゃないんだと思った。マーティさんは、外国の方なのに、「もったいない」について深く考えられるなんてすごいと思った。

(井上)

・戦争がなかったら、軍事情を様々なものにも使えるのに、とてももったいないことだと思った。生活にはもったいないことばかりだった。これからぼくは、マーティさんの意志を受けついでいこうと思うた。

(戸川)

・今まで「もったいない」ことなんてあまり考えたことがなかったけど、世界の人ができていないことを、自分はたくさんできていることに驚きました。私ももう少し「もったいない」と思うようになりたいと思いました。

(久保)

・人と人が支え合って今の私たちがいるんだなと感じた。私たちが当たり前に使ったりしているのは、誰かの努力や命がたまっているということに気づいた。

(藤岡)

・経済の発展の方が大事だと言う人もいるけど、ぼくは自然を大切にしたい。せつかく育てきた木なども、切り倒したりするのは良くない。(塚本)

みんなの日記から



□「大勝利」

渋谷桃香

私は、七月十五日、テレビでオリックススバツファローズの試合を観ました。その日に、私の大好きな吉田正尚選手の誕生日でした。吉田正尚選手は、

今年でプロ四年目、ホームランやヒットなどを打って活やくしています。二〇一九年には、侍ジャパンにも選ばれていました。

その日の試合で、吉田選手は、四打数三安打のうち、一安打がホームランでした。吉田選手がホームランを打った次の守りでは、山本選手が、三者ぼん退、八回無失点で試合に勝って、とてもうれしかったです。

今は、コロナで試合を観に行けないけど、おさまってきたら、試合を観に行きたいです。

□「ラーメン屋さんに行った」 戸川翔太

ぼくは、土曜日に、ラーメン屋さんに行きました。コロナが流行っていたので、一月ぐらいから行けていなかったもので、うれしかったです。

ラーメン屋さんに着くと、かなり混んでいて、いつもだったら待ち合室で待つのに、車で待つことになりました。十分ぐらい待つと、ようやく中に入れました。

中は結構混んでいて、ぼくがたのんだのは、こってりとあつさりした味のラーメン、ギョウザをたのみました。ラーメンはすごくおいしくて、スープとめんがからみついて味わい深かったです。ギョウザはいろんなタレをつけて食べました。

久しぶりにラーメン屋さんに行って楽しかった

です。これからもまだまだコロナのせいで行けない公園とかショッピングモールにも、感せん予防をしながら行きたいです。

□「ぼくの好きな歌手」 佐藤晃太郎

ぼくの好きな歌手は、米津玄師さんです。九月にはライブに行く予定をしています。みんなにこの人の存在を知ってほしいので、おすすめの三つの曲を紹介します。

一つ目は、「TEENAGE RIOT」です。歌詞に、「よいいどんで鳴る銃の音を、いつの間にか聞き逃していた」という所があります。みんなは、スポーツや勉強をがんばっているのだから、みんなにおくれないようにしようと、聴く度に思います。

二つ目は、「V.I.V.I」です。この曲は、東日本大震災が起こった二〇一一年に作られた曲です。日本は、原発事故で、改めて核の危なさを痛感しました。その時に作ったこの曲は、米津さんが、核のない世界を願って作ったとされている、とても良い曲です。

最後は、新曲の「感電」という曲です。この曲は約二時間で百万回再生されるとても人気の曲です。

今回は、三つを紹介しましたが、米津さんの曲は全部神曲なので、聴いてみてください。



香芝市立下田小学校 6年4組 学級文集「みんなde」第52号 2020.7.30(木)

病気の予防(エイズについての学習) その②



ーエイズ(AIDS)と

エイズウィルス(HIV)とはちがうー

前回の授業では、免疫の仕組み(体を守る仕組み)について映像を通して知ってもらいました。そして、次の段階の学習として、エイズウィルスがどのようにして免疫の仕組みをこわしていくのかを考えてもらいました。

まず、エイズ(後天性免疫不全症候群)という病気は、生まれた後に免疫の機能がおかされ、普最の人ではかからない病気にかかってしまう病気です。

- A(後天性) // 生まれた後
- I(免疫不全) // 体を守る
- D // 仕組みがおかされる
- S(症候群) // いろんな病気

エイズは病気の名前であって、ウィルスによってもたらされる病気です。そのウィルスがHI V(ヒト免疫不全ウィルス)です。インフルエンザがインフルエンザウィルスによって引き起こされるのと同じです。

H(ヒト) I(免疫不全) V(ウィルス)
ただし、他のウィルスと大きなちがいがありません。

一つ目は、HIVは、体を守る仕組みの命令を出す、T細胞(ヘルパーTリンパ球)にもぐりこむので、ウィルスなどをやっつける抗体を出す指令が出ないこととなります。そのため、体を外敵から守れないようになります。

二つ目は、HIVにかかると、微熱が数週間続くのですが、すぐに発病するわけではなく、一時は熱もひいて治ったような状態になります。その間、HIVはT細胞の中で、ずっとひそんでいます。そして、八年〜十年後(個人差があつて人によってはもっとその期間が短い人もいます。)に、何らかのきっかけで、エイズという病気になるのです。この間、自分がHIVに感染していると分からないことも多く、他の人につつしてしまう危険性もあります。

このように、ヒトにとってはたいへんやっかいな病気ですが、感染したから、すぐにエイズになるわけではありません。発病して初めてエイズという病気になるのです。HIVに感染したとしても、発病の時期をおくらせたり、発病をおさえたりすることも可能なのです。

授業の感想から

7/28

・HIVはころころ形を変えることが分かった。早く、エイズにすぐに効く薬を作ってほしい。今年、インフルもコロナも流行るから、大変そうだ。

(木村)

・エイズの薬を作っても、効くのが最初に、後から効かなくなると聞いて、どうしたら防げるのかなと思いました。

(倉谷)

・HIV感せん者が一番多い年は、2008年だった。最近では、コロナウイルスの方がよくニュースになっているから、エイズという病気があることを、学習するまでは知らなかった。

(川原)

・エイズとコロナが似ていることが分かって、いい学習になった。どれだけ、エイズがいやな病気かということがわかった。

(酒井)

・エイズはコロナコ形が変わると聞いて、私は薬を作っても難しい病気だと思いました。

(菅野)

・八十年の間、HIVは体にいたら、他の人につっているかもしれないと思ったら、とてもこわいなどと思いました。

(井阪)

・ぼくは、HIVがごろごろ変わることを知って、HIVはとてもすごいと思ったけど、薬が効かないから、こわいと思った。

(岩本ひ)

・今日は、エイズとHIVを勉強しました。エイズも今のコロナと同じで、感染者が増えていたのが分かりました。

(上田)

一学期が終わりませす



もうすぐで、一学期も終わります。コロナの影響で、一学期は二ヶ月間と少ししかなく、四月五月のない一学期なんて初めてのことでした。休校中に新しい学年になり、始まったのが六月一日でした。いろんな制約のある中で、

新学期で、校外学習はないし、プールもなくなつてしまいました。いつもとちがう一学期でしたが、文句も言わずによく我慢して学校に来ることができました。みんなをしっかりとほめてあげたいです。さて、この短い一学期はどうでしたか？四組は過ごしやすかったですか？一学期の生活のことや、短いですか、夏休みの予定について作文に書いてもらいました。

□「短かった一学期」

大武優介

ぼくたちは、コロナウイルスのせいで、一学期の半分の四月五月が休校になってしまいました。

六月から始まって、去年とはいろいろ違うところがあり、席を空けたり、音楽ではリコーダーが吹けなかったりして、とても違和感がありました。

六月の最後ぐらいでコロナウイルスがおさまってきたかと思ったら、東京や大阪で過去最多の感染者数を出していたりして、第二波がまだ来ているのかなと思いました。自分もかかるかもしれないので、手を洗ったりしたいです。一学期は二ヶ月とても短かったけど、二学期は普通にできた、いいなと思います。

□「いろいろ変わった一学期」 中岡樹

ぼくは、日記の題名を「いろいろ変わった一学期」にしました。その理由は、コロナがあつて、学校が休校になったからです。ぼくは、初めは、

休校になってラッキーと思いました。夏休みが短くなったと聞いたので、今休んでいる分は夏休みをつぶしてるとだんと思えました。

そして、六月に学校が始まり、学校に行ったら、今までと少し違う点がありました。手を洗う時に間をあけて並んだり、教室の机は間が、空いていたりしてました。給食の時は給食当番の人はみんな青の手袋をしてご飯を入れていました。勉強もマスクをしてやらなければならなかったりしました。

でも、ぼくは学校に行けて楽しいです。また元の学校にもどってほしいです。

□「一学期を終えて」 谷口剛琉

ぼくは、この一学期がとても短いと思いました。本当は、四月から五月まであったのに、コロナウイルスのせいで六月から七月までしかなかったのも、もつとあつてほしかったです。

初めは休校でうれしいと思ったけど、考えてみると、友達ともつと学校で会いたかったです。でも、二ヶ月は、いっぱい楽しいことがあつたので、一学期かなと思いました。

でも、これからぼくが中学生、高校生になつても、こういう休校がないように、みんなが対策をしたいです。今はこうなつてしまつたからしょうがないけど、みんなが三密をさけて、ルールを守っていると、二学期、三学期はとても良い学校生活なると思っています。



香芝市立下田小学校 6年4組 学級文集「みんな」第53号 2020.7.31(金)

もったいない

日本には「おさがり」という言葉があります。いまではあまり使いません。

お姉さんの物を妹に。

ときには隣のお兄さんのものもいただいて。

これは「ケチ」とは違う、

「まだ十分使えるもの」を活かす

日本人のリユースの慣習でした。

しかしいまや、この美風は

忘れ去られようとしています。

『もったいない』プラネット・リンク編／マガジンハウスから

「3つのR」というのは、四年生の時に社会でゴミのことを学習したときに出てきました。

◎REDUCE(リデュース)

ムダな物は買わない。レジ袋をもらわない。ゴミをへらす。出さない。

◎REUSE(リユース)

使ったものをもう一度使う。個人で作りがえる。

◎RECYCLE(リサイクル)

回収運動(カン・ビン・ペットボトルなど)

先生の子どものころは、兄弟がいれば、お兄ちゃんやお姉ちゃんの服を弟や妹が着るのが当たり前でした。今でもそのようなおうちには少なくありません。学校では、お姉ちゃんのちよっと大きな水着をきた妹がいたり、赤白ぼうの名前のところだけマジックで消してあったり、こんなのはとても良いことだと思います。着られる間は着ようとする「もったいない」という考え方の表れですね。学校でも「校服リサイクル」を行う学校もあります。

授業の感想から

7/23

・日本では、余り考えていないふつうのことでも、いろいろな節約ができるんだなと思いました。一ついいから、何か節約できることをすると、世界の人々を助けられると思いました。(高山)

・いろんなもったいないことが、こんなにも出てくるんだなと思いました。もったいなくなならないようにしたいと思いました。(倉谷)

・日本や世界には、いろんな「もったいない」ことがあることが分かった。そして、その「もったいない」をどうしたら良くなるのかと思いました。自分にとって、小さなことかもしれないけど、実は大きな一歩になるかもしれないから、自分で出来ることは何でもしていこうと思いました。(岡田)

「ご飯を当たり前のように食べているけど、ご飯を食べられなくて死んでしまっている人がいることが分かって、ご飯を食べているのは、とても幸せなことなんだなと思った。」

(大武)

「もったいない」という話を聞いて、改めていろいろな「もったいない」ことをしていたと思った。やっぱり、食べ物が残したらダメだと思う。だから、これからは、残さずに食べたいと思う。(岩本ひ)

私はこれを聞いて、環境をもっと大切にしたいと思いました。私たちは、今すごく豊かな生活をしています。その生活が当たり前になったらダメだなと思います。他の国では、よごれた水しか手に入らなかったりするので、自分の生活のあたり前に感謝して生活したいです。(澤田)

今まであまり分かってなかったけど、身近にはさまざまな「もったいない」があるのだと分かった。私は、「もったいない」より、「申し訳ない」の方が強いの共感できた。なぜなら、この前、お母さんが遊びに行く用意をしてくれたのに、その用意を家に忘れてしまったので、申し訳ないなと思った。

(八田)

ぼくは、この詩を聞いて、マタイさんは、すごく日本のことを知っていて、ぼくよりエコを理解していて、ちゃんとした知識と経験でこの活動を行っているんだなと思いました。何かもったいないことは、身の回りで起きていないのかを考えて、やってみたくまりました。

(佐藤、い)

一学期が終わりです

□「夏休みの計画」

岡田紗侑



私は、二週間しかない夏休みの計画を二つ立てました。

一つ目は、近所の友達と花火をすることです。なぜかと言うと、昨年も、その前の年も、いつも私の家族と相手の家族の二家族で花火をしていたからです。子どもが合計で四人、大人が二人でしていました。今年の花火の計画は、前々から言っていた線香花火をすることです。昨年、花火をしたときに、最後に線香花火で競争したり、くっつけて実験してみたりして楽しかったからです。もちろんふつうの花火もしますが、線香花火が楽しみです。それとは別に買ったねずみ花火ととんぼ花火もします。私は二つともやったことがないので、とても楽しみにしています。

二つ目は、家の近くの子と水遊びをすることです。今はコロナウイルスの影響で、プールに行けなくなっていたので、近所の友達と水遊びができてほしいと思います。水風船や水鉄砲うも使って遊びたいです。

私はこの二つの計画を立てて、一つ目は八月

中にやる予定なので、計画を実行できますが、二つ目の計画は実行できるかどうかまだわかりません。でも二つとも実行できた時は、精一杯楽しんでやりたいと思います。

□「短い夏休み」

久保日香莉

私は、今年の花火は、夏休みで感じがないと思います。なぜなら、すごく短いからです。二週間なので、冬休みと同じくらいです。

まず、私が心配なのは宿題の量です。夏休みはいつも結構宿題の量が多いので、ちゃんと終わるかとても心配です。でも、少年の主張は、今やっているので夏休みしなくていいからよかったです。

心配な事はまだあります。それは、ちゃんと弟と留守番ができるかです。去年はちゃんとあまりけんかもせずに過ごせたけど、今年は去年と状況が違うし、外でもあまり遊べないので心配です。このことについては夏休みが短くなったのでうれしいです。

夏休みが短くなるのはいやだけど、心配していることが短くなったのはよかったです。夏休みが短くなったのは、結局良いのか悪いのかわかりません。